Pivo-te

サンプルレポート

CONTENT QUALITY REPORT

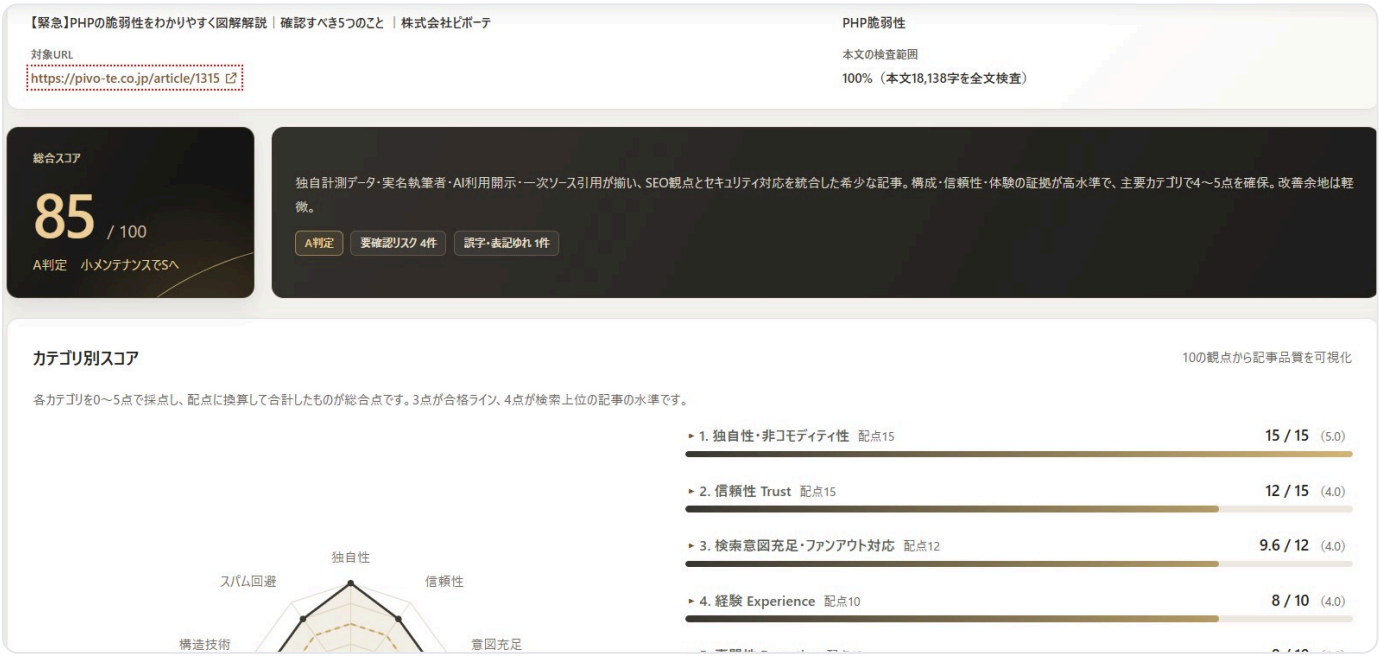
SEOコンテンツ品質診断レポート

Pivo-te コンテンツチェック　詳細チェックの出力例

対象記事	【緊急】PHPの脆弱性をわかりやすく図解解説｜確認すべき5つのこと（自社記事）
対象URL	https://pivo-te.co.jp/article/1315
対策キーワード	PHP脆弱性
診断日	2026年11月5日（本文18,138字を全文検査）

総合スコア	要確認リスク	誤字・表記ゆれ	リンクの確認
85 / 100	4 件	1 件	3 件 要対応
A判定　小メンテナンスでSへ	すべて軽微	軽微	30件を確認

総評　独自計測データ・実名執筆者・AI利用開示・一次ソース引用が揃い、SEO観点とセキュリティ対応を統合した希少な記事。構成・信頼性・体験の証拠が高水準で、主要カテゴリで4〜5点を確保。改善余地は軽微。



詳細チェックの結果画面。この記事は2026年11月5日時点で「php 脆弱性」の検索結果1位に表示されていました（当社調べ）。

01 カテゴリ別スコア

10のカテゴリを0〜5点で採点し、配点に換算して合計したものが総合点です。3点が合格ライン、4点が検索上位の記事の水準です。

#	カテゴリ	得点（5点換算）	評価の根拠	改善の余地
1	**独自性・非コモディティ性**	**15** / 15（5.0）	弊社独自計測（●●関連KW約2.5万語、5日間で上位10件が6割超減ったサイト16件、平常時の約3倍）、自社サイトの対応実施の明示、AI発見経緯の一次ソース引用、php2shellの仕組み図解など、他サイトの要約では作れない独自要素が複数の柱を形成している。	独自計測データに調査設計（対象KW選定基準・計測ツール・誤差範囲）を一文添えると、引用元として名指しされる可能性がさらに高まります。
2	**信頼性 Trust**	**12** / 15（4.0）	IPA・PHP公式・JPCERT/CC・CISA・Tenable等の一次ソースを明示。伝聞表現は出典リンク付きで使用されており問題なし。誤字は確認できない。	チェック・ポイント社の数値の出典が二次ソース（ASCII.jp）のみのため、公式ブログへの一次ソースリンクへの差し替えを検討する余地があります。
3	**検索意図充足・ファンアウト対応**	**9.6** / 12（4.0）	顕在意図（何が起きたか・何をすべきか）と潜在意図（SEOへの影響・止め方）を5ステップ＋SEO観点で網羅。タイトルで約束した「確認すべき5つのこと」は本文5ステップで完全に回収されている。	「PHPとは？」セクションは既にPHPを知っている担当者には冗長に感じられる可能性があります。1〜2段落に圧縮する選択肢もあります。
4	**経験 Experience**	**8** / 10（4.0）	自社サイトの対応実施（サーバー確認・PHPバージョン確認）を実名コメントで明示。独自計測の具体的数値（16件・5日間・約3倍）あり。	「現場から多く聞こえてくる声」の収集方法（ヒアリング・問い合わせ等）を一文添えると、体験の裏付けがさらに明確になります。
5	**専門性 Expertise**	**8** / 10（4.0）	PHP-FPMの再起動必要性、503のRetry-Afterヘッダー、200返却時のインデックスリスクなど、実務者水準の判断基準が複数含まれている。	暫定的な緩和策はFAQ末尾で一文触れるだけで、具体的な設定値や確認コマンドがありません。技術担当者への依頼文の一例を示す選択肢もあります。

01 カテゴリ別スコア（つづき）

#	カテゴリ	得点（5点換算）	評価の根拠	改善の余地
6	**AI引用適性**	**8** / 10 （4.0）	冒頭の「この記事のポイント」が結論先出しの独立ブロックとして機能。FAQは自己完結した質問・回答形式で、AI引用に適した段落構造。	「最新の状況」ブロックは箇条書きが密です。各箇条を「結論→根拠」の順に短文化すると、引用適性も向上します。
7	**権威性 Authoritativeness**	**6.4** / 8 （4.0）	IPA・JPCERT/CC・PHP公式・CISA等の権威ある一次ソースを複数引用。執筆者はWeb業界16年・SEOコンサルタントとして実名・経歴を明示。	セキュリティ技術の権威性は第三者ソースに依存する構造です。記事内でその点を明示すると、読者の信頼感が高まる余地があります。
8	**著者情報・AI利用の透明性**	**8** / 8 （5.0）	実名バイライン・経歴・AI利用開示・執筆者コメント・取材プロセスの記述が揃っている。AI利用の範囲を限定して開示しており、透明性が高い。	AI利用開示に「使用ツール名」を添えると、透明性がさらに高まる選択肢があります（必須ではありません）。
9	**構造・技術基盤**	**5.6** / 7 （4.0）	H1×1・H2×8・H3×5の階層は論理的。表・番号付きリストで可読性を確保。構造化データにBlogPostingあり。	FAQPage構造化データの追加を検討する余地があります。alt欠落が多数あり、画像検索流入の取りこぼしになる可能性があります。
10	**検索エンジンファースト回避**	**4** / 5 （4.0）	CTAは本文中に2〜3箇所で過剰には至らない。水増し・キーワード詰め込み・体験偽装は確認できない。	503の説明が本文とFAQでほぼ同内容です。FAQを短縮するか、本文側を要約にする選択肢もあります。

02 要確認リスク　4件

該当箇所を引用し、指摘の理由と修正の方向を示します。深刻度は「重要」「要改善」「軽微」の3段階です。

軽微 信憑性 リスク 1

> 「弊社が計測している●●関連の検索キーワード約2.5万語で調べると、10月25日から30日のわずか5日間で、上位10件の表示が6割以上減ったサイトが16件ありました。」

指摘 独自計測データとして提示されているが、計測手法・対象サイトの選定基準・集計ロジックの詳細が本文内になく、読者が検証できない。

修正の方向 本文内に最低限の計測概要（対象KW群の定義・計測ツール・集計期間）を添えると、独自データとしての信頼性が高まる。

軽微 信憑性 リスク 2

> 「チェック・ポイントは、世界の組織の10%が攻撃の標的になったとしている」

指摘 出典がASCII.jp（二次ソース）。

修正の方向 チェック・ポイント社の一次発表（公式ブログ等）への差し替えを検討する。

軽微 信憑性 リスク 3

> 「韓国のセキュリティ企業Geniansは、…機器の96%が影響を受ける可能性があり、その78%はサポートが終了したPHP 8.1以前…」

指摘 出典が韓国メディア「Digital Today」（二次ソース）のみ。

修正の方向 数値の信頼性確保のため、Geniansの一次発表への差し替えを検討する。

軽微 信憑性 リスク 4

> 「北朝鮮との関連が疑われるグループが、…未修正のサーバー216台を洗い出していた…（関連の確度は「中程度」）」

指摘 出典がSecurity Affairs（二次ソース）のみ。確度の低い情報であることの明示も弱い。

修正の方向 CYFIRMAの一次レポートへのリンクを付け、確度が低い情報であることを本文でも明示する。

03 誤字・表記ゆれ　1件

軽微 表現

> 「従事後、2018年に」

「従事後」は「従事し、」または「従事したのち、」が自然。誤字・脱字の断定には至らないため、判断は担当者に委ねる。

04 リンクの確認

本文のリンクに実際にアクセスして、リンク切れや転送先の変更を確認します（本文の上から最大20か所。上限を超えた分は未調査として表示）。

3件	2件	25件	3件
要対応	要確認（目視）	問題なし	未調査（上限超過）

判定	ステータス	リンク先	対応
要対応	404	TBS NEWS DIG（Yahoo!ニュース）	リンク切れ。差し替えか削除
要対応	301→200	Security Affairs	恒久リダイレクト。転送先URLへ更新
要対応	301→200	ITmedia NEWS	転送先がトップ・一覧ページ。リンク先を確認
要確認	403	The Hacker News	bot検知の可能性。目視で確認
要確認	403	ビジネス+IT	bot検知の可能性。目視で確認

05 良い点と気になる点

良い点

- 実名執筆者・AI利用開示・一次ソース列挙が揃い、E-E-A-T観点で高水準
- 弊社独自計測（約2.5万KW）による定量データが記事の核となっており、他サイトにない一次情報
- IPA・JPCERT/CC・PHP公式・CISA等の一次ソースを網羅的に出典として明示
- 「止め方によってSEOへの影響が変わる」というSEO×セキュリティの統合視点は競合記事にない切り口
- 9問のFAQが読者の疑問を網羅し、AI引用適性・検索意図充足の両面で機能している

気になる点

- 独自計測の詳細が別記事に分離されており、本文内で数値の根拠を完結させられていない
- チェック・ポイント・Genians・CYFIRMAの出典が二次ソース止まり
- og:imageが未設定のため、Discoverの機械ゲートを通過できない状態
- alt欠落が74枚中55枚と多く、画像検索流入の取りこぼしリスクがある
- FAQPageスキーマが未設定で、9問のFAQがリッチリザルトに反映されない

06 改善アクション（優先度順）

#	アクション	期待できる効果	工数
1	独自計測ブロック内に計測概要（対象KW群の定義・集計ツール・平常時の定義期間）を2〜3行で追記	+0.5点（信頼性・独自性）	小
2	チェック・ポイント社・Genians・CYFIRMAの出典を、各社の公式ブログ・一次レポートへ差し替え	+0.5点（信頼性）	小
3	記事を代表する図解画像をog:imageに設定（max-image-preview:largeは設定済み）	Discover流入の機会拡大	小
4	74枚中55枚で欠落しているalt属性を、画像内の数値・手順テキストをもとに追加	画像検索流入・AI検索対応	中
5	9問のFAQにFAQPage構造化データを追加	リッチリザルト機会	小

あなたの記事も、同じ基準でチェックできます。

URLか本文を貼るだけで、簡易チェックは約20秒、詳細チェックは1〜2分。お試しアカウント（10ポイント・5,000円相当）を無料で発行しています。

https://pivo-te.co.jp/content-check-tool/

※本レポートは当社の自社記事を対象にしたサンプルです。2026年11月5日時点・当社調べ。一部の数値と表現は読みやすさのため要約しています。点数は検索順位を保証・予測するものではありません。指摘は法的判断ではなく、確認をおすすめする箇所の検出です。